

第6期 船橋市民活動サポートセンター運営協議会 団体支援部会作業スケジュール

		令和4年度										令和5年度	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
会議日程	部会開催日		第1回(7/14) 今年度検討課題の抽出	第2回(8/9)	第3回(9/8)	第4回(10/13)	第5回(11/10)	第6回(12/8)	第7回(1/12)	第8回(2/9)	第9回(3/9)		
	運営協議会開催日	2022/6/23			(2022/9/22)			(2022/12/23)			(203/3/23)		
①市民大学との連携		9/4, 9/11ボランティア学科マッチング会,19団体											
②プレゼンテーションのスキルアップ		10/6(講義編)、10/27(実践編) 開催予定											
③プロボノの調査、設立の検討													
④参加団体の問題点等について情報の収集・検討													

「今回の検討課題」	「前回の検討結果」
<p>①市民大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふなばし市民大学校への要望事項に対する回答（大橋氏） <p>②プレゼンテーションのスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座開催中 <p>③プロボノの調査、設立の検討（9/28影山氏との打合せを踏まえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題事項の整理・検討（「ふなポノ」上原氏との打合せ？） <p>④参加団体の問題点等について情報の収集・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート案（斎藤委員提案）に基づき項目・実施時期等の検討 	<p>1.市民大学との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民大学校への要望 →次回（10/13）回答予定 <ol style="list-style-type: none"> ボランティア養成学科以外のまちづくり学部の3学科並びにいきいき学部にも、ボランティア体験をカリキュラムに取り入れてもらうことは可能か？ すべての学科に「市民活動フェア」の案内をオリエンテーションの時間をさいて実施することは可能か？ まちづくり学部の修了生に対してボランティア活動の実態を追跡調査することは市民大としても有意義と思うが如何か 生涯学習コーディネーター連絡協議会が実施していた学生募集イベントがあったが、その機会にボランティア体験紹介は可能か？ 上記事項について市民大担当「大橋氏」より カリキュラムは各分野に添って編成しており、他学科にボランティア体験を組込むことは難しいと思われる。また、カリキュラムは各担当者が作成し年度末に編成会議、運営委員会を経て決定することになるが、各担当に打診を行う。 <p>2.プレゼンテーション能力スキルアップの講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より次項の開催案内と講座日程、講師等について報告あり。 <ol style="list-style-type: none"> 日程 ①10/6（講義編）14時～16時中央公民館 ②10/27（実践編）9時～11時市役所本庁11階大会議室 講師：プレゼンテーションの基本、斉藤正和氏 効果的なビジュアルアプローチ海老田慶周氏 <p>3.プロボノ設立に向けての調査・検討</p> <ol style="list-style-type: none"> プロボノについて基本的考え方、体制、運営、メリット等について説明（斎藤委員） 課題 <ol style="list-style-type: none"> ①設置・運営主体（行政になった場合：予算措置・意義の必要性、方向性の説明責任等）②予算規模③実行委員会方式の可能性④ワーカーの募集⑤委託団体とワーカーのマッチング方法⑥成果に対する責任⑦団体が保有する課題等の把握 <p>4.参加団体の課題・問題点等の情報収集・検討</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アンケートの目的：各団体が抱えている問題点等を認識し対応②アンケートの内容は斎藤委員がたたき台を作成し次回検討また、運営委員会の各部会にも照会を行う。③集計は千葉県電子申請システムを使用、分析は市民協働課。④対象は登録団体